



2024年12月期 第2四半期（中間期） 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月5日

上場会社名 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7177 URL <https://www.gmofh.com/>
 代表者（役職名）代表執行役社長 C00（氏名）石村 富隆
 問合せ先責任者（役職名）常務執行役 CFO（氏名）山本 樹（TEL） 03-6221-0183
 半期報告書提出予定日 2024年8月5日 配当支払開始予定日 2024年9月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け／ライブ配信のみ）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	26,147	△3.2	24,147	△5.0	4,945	△37.6	4,430	△43.0	1,558	△56.6
2023年12月期中間期	27,012	16.6	25,411	15.7	7,929	25.9	7,775	17.6	3,589	△14.7

（注）包括利益 2024年12月期中間期 2,304百万円（△42.3%） 2023年12月期中間期 3,991百万円（△26.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2024年12月期中間期	円 銭 13.21	円 銭 —
2023年12月期中間期	30.97	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年12月期中間期	百万円 1,236,148	百万円 46,911	% 3.8
2023年12月期	1,125,498	46,440	4.1

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 46,600百万円 2023年12月期 46,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 10.10	円 銭 5.70	円 銭 9.80	円 銭 7.20	円 銭 32.80
2024年12月期	11.87	2.00			
2024年12月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

当社及び連結子会社の主な事業である証券・FX事業及び暗号資産事業は、経済情勢や市況環境の影響を強く受けており、業績予想を行うことが困難であるため、連結業績予想は開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼすFX取引高、株式委託売買代金、CFD売買代金、暗号資産売買代金、顧客口座数等の営業指標や営業収益を月次で開示しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 3社(社名) GMOヘルステック株式会社、
GMOヘルスケア株式会社(注)、 除外 1社(社名)
他1社

(注) GMOヘルスケア株式会社は、2024年6月1日付で株式会社アイソルから商号変更しております。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	122,091,903株	2023年12月期	122,091,903株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	4,102,535株	2023年12月期	4,102,535株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	117,989,368株	2023年12月期中間期	115,898,028株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上を目途に、四半期ごとに配当することを目標としておりますが、業績予想を行うことが困難であるため、現時点における配当予想額が未定となっております。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示を行う予定です。

当社は、2024年8月5日にライブ配信での決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(動画)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
(4) 2024年12月期第2四半期末の配当について	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結包括利益計算書	10
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	13
(セグメント情報等の注記)	13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(当中間連結会計期間における連結の範囲の重要な変更に関する注記)	14
(企業結合等関係)	14
3. その他	16
(1) 連結損益計算書の四半期推移	16

GMOフィナンシャルホールディングス株式会社及びGMOフィナンシャルホールディングス株式会社の連結子会社を以下「GMO-FH」と記載します。

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の営業収益は26,147百万円(前年同期比3.2%減)、純営業収益は24,147百万円(同5.0%減)と前年同期比で微減となりました。各段階利益については、タイ王国の証券事業等に係る貸倒引当金繰入額4,509百万円を販売費及び一般管理費に計上したことから前年同期比で大幅に減少し、営業利益は4,945百万円(同37.6%減)、経常利益は4,430百万円(同43.0%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は1,558百万円(同56.6%減)となりました。

(タイ王国の証券事業に係る貸倒引当金繰入額の計上について)

当中間連結会計期間において、タイ王国で証券事業を展開する当社連結子会社のGM0-Z com Securities (Thailand) Public Company Limited(以下「タイ子会社」)が信用取引の提供に際し顧客から担保として差し入れを受けている複数の代用有価証券の株価が大幅に急落しました。これを受けて、タイ子会社で当該有価証券を担保とする信用取引貸付金等に対する貸倒引当金の見積りにおいて回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額を販売費及び一般管理費に計上することといたしました。

タイ子会社においては、2022年11月に信用取引の担保として受け入れた代用有価証券を巡る不公正取引が発生して以降、他の代用有価証券においても株価の大幅な下落に伴う貸倒引当金繰入額を計上しております。信用リスクの低減に向けて、新規貸付(新規買い注文)の全面停止をはじめとして様々な再発防止策を講じてまいりましたが、取引約款上の制約から既存顧客に対して強制力のある対応を行うことができず、今般、再び多額の貸倒引当金繰入額を計上する事態となりました。引き続きタイ子会社において、リスク低減に向けた取り組みと債権回収に全力で取り組んでおりますが、本件の抜本的な解決に向けて、タイ子会社は信用取引サービスの提供を2024年12月20日付で終了することといたしました。

今後も、信用取引サービスの終了又は債権の回収が完了するまでにタイ株式市場の急変等により担保価値が下落し、回収可能性が見込めない場合には、貸倒引当金繰入額の追加計上を行う可能性があります。

当中間連結会計期間における主な収益、費用、利益の状況は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率
営業収益	27,012	26,147	△864	△3.2%
受入手数料	1,857	2,079	222	12.0%
トレーディング損益	21,198	18,752	△2,446	△11.5%
金融収益	3,796	3,713	△82	△2.2%
その他の営業収益*	39	923	884	-
その他の売上高	120	677	557	461.0%
金融費用	1,588	1,765	177	11.1%
売上原価*	12	234	221	-
純営業収益	25,411	24,147	△1,263	△5.0%
販売費及び一般管理費	17,481	19,202	1,720	9.8%
営業利益	7,929	4,945	△2,984	△37.6%
経常利益	7,775	4,430	△3,344	△43.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	3,589	1,558	△2,031	△56.6%

※ その他の営業収益、売上原価の増減率は1,000%を超えるため、「-」と記載しています。

当中間連結会計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりです。

営業収益内訳(セグメント別/商品別)

(単位:百万円)

	前中間連結 会計期間	当中間連結 会計期間	増減額	増減率
証券・FX事業	25,420	22,049	△3,371	△13.3%
株式・ETF等 ^{※1}	669	671	1	0.3%
先物・オプション ^{※2}	52	-	△52	-
取引所FX	398	260	△137	△34.5%
通貨関連店頭デリバティブ	16,103	12,298	△3,804	△23.6%
CFD・株BO	4,338	4,970	631	14.6%
金融収益	3,796	3,710	△85	△2.2%
その他	61	138	76	123.4%
暗号資産事業	1,465	3,417	1,951	133.2%
暗号資産	1,465	3,417	1,951	133.2%
その他	140	690	549	389.7%
その他	140	690	549	389.7%
調整額	△15	△10	5	-
営業収益合計	27,012	26,147	△864	△3.2%

※1 株式・ETF等の取引に係る委託手数料及びその他の受入手数料、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、投資信託に係るその他の受入手数料が含まれています。

※2 先物・オプション取引は、2023年11月にサービスの提供を終了しました。

(証券・FX事業)

証券・FX事業においては、強みである店頭FXの収益性改善施策やCFDのクロスセル施策に取り組むほか、店頭FX、CFDについて多数のキャンペーンを展開し、取引活性化と顧客基盤拡大を図りました。また、GM0クリック証券株式会社においては手軽に米ドルが保有できる新サービスの提供を開始し、顧客利便性向上に取り組みました。店頭FXについては、ドル円相場の円安が進行する中で収益性が低下し減収となる一方、CFDについては売買代金・収益ともに前年同期比で増加し、引き続き高水準で推移しました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当セグメントの営業収益は22,049百万円(前年同期比13.3%減)となりました。営業利益については、タイ王国の証券事業における貸倒引当金繰入額の計上により、3,439百万円(同57.8%減)となりました。

(暗号資産事業)

暗号資産事業においては、法人口座やAPIサービスの機能拡充、銘柄追加に取り組むほか、取引活性化に向けたキャンペーンを展開し、顧客利便性向上と顧客基盤拡大を図りました。代表的な暗号資産であるビットコインの価格が大幅に上昇し、2024年3月に過去最高値を記録して以降も高水準で推移したことから、GM0コイン株式会社の売買代金は前年同期比で約2倍と大きく伸長し、収益も増加しました。また、暗号資産市場のボラティリティ上昇も寄与して口座獲得が順調に進捗し、前年同期末比7.0万口座増の64.5万口座となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における当セグメントの営業収益は3,417百万円(前年同期比133.2%増)、営業利益は前年同期から大幅に増加し1,740百万円(前年同期は営業損失56百万円)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債、純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当中間 連結会計期間末	増減額
総資産	1,125,498	1,236,148	110,649
負債	1,079,058	1,189,236	110,178
純資産	46,440	46,911	471

(総資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は1,236,148百万円(前期末比110,649百万円の増加)となりました。これは主に、有価証券担保貸付金が7,383百万円減少した一方、現金及び預金の増加6,817百万円、利用者暗号資産の増加77,245百万円、信用取引資産の増加4,811百万円、支払差金勘定の増加9,622百万円があったことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は1,189,236百万円(前期末比110,178百万円の増加)となりました。これは主に、預り暗号資産の増加77,245百万円、受取差金勘定の増加10,993百万円、社債の増加11,075百万円によるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は46,911百万円(前期末比471百万円の増加)となりました。これは主に、利益剰余金の減少691百万円、為替換算調整勘定の増加593百万円、共同出資によるGM0ヘルステック株式会社の設立等による非支配株主持分の増加301百万円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、営業活動による収入が2,136百万円、投資活動による支出が5,107百万円、財務活動による収入が9,516百万円となった結果、当中間連結会計期間末には前期末比7,081百万円増の88,230百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,136百万円のプラスとなりました。これは主に、有価証券担保貸付金の減少による収入7,383百万円、預り暗号資産の増加による収入77,245百万円、受取差金勘定の増加による収入10,974百万円があった一方で、利用者暗号資産の増加による支出77,245百万円、支払差金勘定の増加による支出9,523百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,107百万円のマイナスとなりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出3,056百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,660百万円があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9,516百万円のプラスとなりました。これは主に、長期借入れによる収入4,980百万円、社債の発行による収入10,913百万円、長期借入金返済による支出6,838百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

GMO-FHの主な事業である証券・FX事業及び暗号資産事業は、経済情勢や市況環境の影響を強く受けており、業績予想を行うことが困難であるため、連結業績予想は開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼすFX取引高、株式委託売買代金、CFD売買代金、暗号資産売買代金、顧客口座数等の営業指標や営業収益を月次で開示しております。

(4) 2024年12月期第2四半期末の配当について

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。2024年12月期については、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上を目途に、四半期ごとに配当することを目標としております。

しかしながら、2024年12月期第2四半期連結会計期間(2024年4月1日～6月30日)において親会社株主に帰属する四半期純損失を計上することとなったことを勘案し、2024年12月期第2四半期末(2024年6月30日)の配当につきましては、1株当たり2.00円といたしました。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,095	89,912
預託金	511,989	515,826
利用者暗号資産	157,146	234,392
信用取引資産	127,497	132,309
有価証券担保貸付金	12,531	5,147
短期差入保証金	70,718	74,240
支払差金勘定	99,014	108,636
その他	28,550	39,665
貸倒引当金	△694	△1,979
流動資産合計	1,089,851	1,198,152
固定資産		
有形固定資産	1,483	1,504
無形固定資産		
のれん	9,018	9,385
その他	8,284	7,773
無形固定資産合計	17,303	17,159
投資その他の資産		
繰延税金資産	591	518
その他	22,772	29,380
貸倒引当金	△6,503	△10,566
投資その他の資産合計	16,860	19,331
固定資産合計	35,647	37,995
資産合計	1,125,498	1,236,148
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	31,816	29,958
有価証券担保借入金	15,698	12,270
預り金	62,009	59,562
預り暗号資産	157,146	234,392
受入保証金	572,893	578,484
受取差金勘定	11,677	22,670
短期借入金	137,183	141,474
1年内償還予定の社債	-	26
1年内返済予定の長期借入金	9,674	12,919
未払法人税等	3,508	2,735
賞与引当金	234	134
役員賞与引当金	343	-
その他	20,953	32,048
流動負債合計	1,023,139	1,126,677

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
固定負債		
社債	9,800	20,875
長期借入金	44,703	40,043
繰延税金負債	13	366
退職給付に係る負債	46	61
その他	412	264
固定負債合計	54,976	61,611
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	942	948
特別法上の準備金合計	942	948
負債合計	1,079,058	1,189,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	705	705
資本剰余金	2,152	2,147
利益剰余金	43,656	42,965
自己株式	△2,297	△2,297
株主資本合計	44,217	43,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221	324
繰延ヘッジ損益	△120	49
為替換算調整勘定	2,111	2,705
その他の包括利益累計額合計	2,213	3,079
非支配株主持分	9	310
純資産合計	46,440	46,911
負債純資産合計	1,125,498	1,236,148

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業収益		
受入手数料	1,857	2,079
トレーディング損益	21,198	18,752
金融収益	3,796	3,713
その他の営業収益	39	923
その他の売上高	120	677
営業収益合計	27,012	26,147
金融費用	1,588	1,765
売上原価	12	234
純営業収益	25,411	24,147
販売費及び一般管理費		
取引関係費	5,486	5,897
人件費	2,666	2,381
不動産関係費	2,478	2,137
事務費	1,783	1,899
減価償却費	1,353	1,167
租税公課	690	630
貸倒引当金繰入額	2,462	4,509
のれん償却額	462	483
その他	97	95
販売費及び一般管理費合計	17,481	19,202
営業利益	7,929	4,945
営業外収益		
投資事業組合運用益	13	19
為替差益	155	-
その他	28	37
営業外収益合計	196	56
営業外費用		
デリバティブ損失	101	218
投資事業組合運用損	106	142
社債発行費	86	86
投資有価証券売却損	44	-
その他	12	122
営業外費用合計	351	570
経常利益	7,775	4,430

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	3	-
特別利益合計	3	-
特別損失		
固定資産除却損	2	314
投資有価証券評価損	892	176
金融商品取引責任準備金繰入	-	5
減損損失	320	-
特別損失合計	1,215	496
税金等調整前中間純利益	6,563	3,934
法人税、住民税及び事業税	3,350	2,551
法人税等調整額	△280	△56
法人税等合計	3,069	2,495
中間純利益	3,494	1,438
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△95	△120
親会社株主に帰属する中間純利益	3,589	1,558

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	3,494	1,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	102
繰延ヘッジ損益	△277	169
為替換算調整勘定	780	593
その他の包括利益合計	497	866
中間包括利益	3,991	2,304
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4,086	2,425
非支配株主に係る中間包括利益	△95	△120

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,563	3,934
減価償却費	1,353	1,167
減損損失	320	-
長期前払費用償却額	153	118
のれん償却額	462	483
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,822	4,634
賞与引当金の増減額(△は減少)	△356	△117
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	179	△343
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△3	5
受取利息及び受取配当金	△151	△491
支払利息及び社債利息	1,034	1,372
固定資産除却損	2	314
投資有価証券評価損益(△は益)	892	176
投資事業組合運用損益(△は益)	93	123
預託金の増減額(△は増加)	△24,497	△3,652
利用者暗号資産の増減額(△は増加)	△52,431	△77,245
信用取引資産の増減額(△は増加)	5,307	△3,098
有価証券担保貸付金の増減額(△は増加)	1,908	7,383
短期差入保証金の増減額(△は増加)	1,007	△3,460
支払差金勘定の増減額(△は増加)	△11,818	△9,523
信用取引負債の増減額(△は減少)	△5,061	△1,857
有価証券担保借入金の増減額(△は減少)	157	△3,428
預り金の増減額(△は減少)	9,514	△2,552
預り暗号資産の増減額(△は減少)	52,430	77,245
受入保証金の増減額(△は減少)	23,589	5,325
受取差金勘定の増減額(△は減少)	3,947	10,974
その他	△8,262	△1,100
小計	9,157	6,390
利息及び配当金の受取額	149	490
利息の支払額	△1,057	△1,352
法人税等の支払額	△552	△3,440
法人税等の還付額	977	48
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,675	2,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22	-
定期預金の払戻による収入	0	378
有形固定資産の取得による支出	△34	△174
無形固定資産の取得による支出	△612	△376
投資有価証券の取得による支出	△1,489	△3,056
投資有価証券の売却による収入	163	-
貸付金の回収による収入	118	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△1,660
その他	△92	△218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,970	△5,107

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,658	2,467
長期借入れによる収入	6,000	4,980
長期借入金の返済による支出	△7,396	△6,838
社債の発行による収入	9,713	10,913
社債の償還による支出	-	△10
配当金の支払額	△1,135	△2,244
非支配株主からの払込みによる収入	-	424
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△8
リース債務の返済による支出	△0	-
割賦債務の返済による支出	△230	△166
財務活動によるキャッシュ・フロー	291	9,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	191	536
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,188	7,081
現金及び現金同等物の期首残高	72,237	81,148
現金及び現金同等物の中間期末残高	79,426	88,230

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	証券・FX事業	暗号資産事業	計			
営業収益						
受入手数料	1,347	509	1,857	—	—	1,857
その他	34	0	34	125	—	160
顧客との契約から生じる収益	1,381	509	1,891	125	—	2,017
トレーディング損益	20,242	955	21,198	—	—	21,198
金融収益	3,796	0	3,796	—	—	3,796
その他の収益	24,038	956	24,994	—	—	24,994
外部顧客への営業収益	25,420	1,465	26,886	125	—	27,012
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	15	△15	—
計	25,420	1,465	26,886	140	△15	27,012
セグメント利益又は損失(△)	8,158	△56	8,101	△172	—	7,929

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「証券・FX事業」セグメントにおいて、一部サービスの終了に伴い、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては320百万円であります。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	証券・FX事業	暗号資産事業	計			
営業収益						
受入手数料	1,194	884	2,079	—	—	2,079
その他	71	850	921	680	—	1,601
顧客との契約から生じる収益	1,265	1,735	3,000	680	—	3,681
トレーディング損益	17,073	1,679	18,752	—	—	18,752
金融収益	3,710	3	3,713	—	—	3,713
その他の収益	20,783	1,682	22,466	—	—	22,466
外部顧客への営業収益	22,049	3,417	25,467	680	—	26,147
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	10	△10	—
計	22,049	3,417	25,467	690	△10	26,147
セグメント利益又は損失(△)	3,439	1,740	5,180	△235	—	4,945

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療プラットフォーム事業、システム関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当中間連結会計期間における連結の範囲の重要な変更に関する注記)

当中間連結会計期間より、新たに設立したGMOヘルステック株式会社を連結の範囲に含めております。

また、当中間連結会計期間より、新たに株式を取得したGMOヘルスケア株式会社(旧商号:株式会社アイソル)他1社を連結の範囲に含めております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社の連結子会社であるGMOヘルステック株式会社は、2024年2月22日開催の取締役会において、株式会社アイソルの全株式を取得して子会社化することを決議し、2024年3月8日付で同社の全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社アイソル

事業の内容 電子カルテシステムの開発・販売・導入・保守業務等

② 企業結合を行った主な理由

当社は医療分野におけるデジタル化の促進を通じて新たな価値創造と企業価値の向上を図ることを目的に、共同出資によるGMOヘルステック株式会社を2024年1月に設立しました。

今般、株式会社アイソルがこれまで培ってきた医療IT分野における知見・ノウハウの共有と連携強化により、GMOヘルステック株式会社が提供を予定しているクリニック向け、患者向けのプラットフォーム等のサービス価値向上と事業成長の加速が見込めるものと判断し、同社株式を取得することとしました。

③ 企業結合日

2024年3月8日(株式取得日)

2024年3月31日(みなし取得日)

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後の企業の名称

GMOヘルスケア株式会社(2024年6月1日に商号変更)

⑥ 取得する議決権比率

56.7%(間接保有)

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の連結子会社であるGMOヘルステック株式会社が、現金を対価として株式会社アイソルの株式を取得したことによるものです。

(2) 中間連結会計期間に係る中間連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年4月1日から2024年6月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,249百万円
取得原価		1,249百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

470百万円

② 発生原因

主として今後の事業展開により期待される将来の超過収益力であります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(5) 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

第1四半期連結会計期間において取得原価の配分が完了しておらず、暫定的な会計処理を行っていましたが、当中間連結会計期間に取得原価の配分が確定しております。

この結果、暫定的に算定されたのれん524百万円は、54百万円減少し、470百万円となっております。こののれんの減少は、顧客関連資産が83百万円、繰延税金負債が28百万円それぞれ増加したことによるものであります。

3. その他

(1) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

科目	2023年12月期				2024年12月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
営業収益	13,671	13,340	11,346	13,074	12,880	13,266
受入手数料	927	929	855	894	1,059	1,019
委託手数料	511	486	448	390	421	383
(内、株式・ETF等)	261	285	273	234	295	248
(内、先物・オプション)	28	23	13	△0	-	-
(内、取引所FX)	221	177	161	156	126	134
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	0	1	0	4	0	4
その他の受入手数料	415	441	406	499	638	631
トレーディング損益	10,770	10,428	8,487	10,139	9,715	9,037
金融収益	1,894	1,902	1,906	1,919	1,915	1,798
その他の営業収益	23	15	24	39	96	827
その他の売上高	56	64	71	81	94	583
金融費用	748	839	848	857	887	878
売上原価	6	5	5	6	6	227
純営業収益	12,916	12,495	10,492	12,210	11,986	12,161
販売費及び一般管理費	9,140	8,341	7,029	9,152	7,633	11,568
取引関係費	2,825	2,661	3,024	3,204	3,032	2,865
(内、広告宣伝費)	1,503	1,442	1,755	1,904	1,577	1,504
人件費	1,375	1,291	1,158	1,485	1,301	1,079
不動産関係費	1,236	1,242	1,246	1,122	1,114	1,022
事務費	870	913	930	949	1,003	896
減価償却費	674	678	645	630	601	565
租税公課	338	351	269	286	309	320
貸倒引当金繰入額	1,546	916	△531	1,201	3	4,505
のれん償却額	231	231	231	231	231	252
その他	42	55	54	40	36	59
営業利益	3,775	4,154	3,463	3,058	4,352	592
営業外収益	163	33	56	△157	32	24
営業外費用	81	269	111	△21	223	347
経常利益	3,856	3,918	3,408	2,922	4,161	268
特別利益	1	1	1	26	-	-
特別損失	2	1,213	△155	328	310	186
税金等調整前四半期純利益	3,856	2,706	3,566	2,620	3,851	82
法人税等	1,661	1,408	646	1,529	1,124	1,371
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	△62	△33	△28	△20	△72	△47
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純 損失(△)	2,258	1,331	2,948	1,111	2,800	△1,241